

SAM STEEL CHECKER

鋼材判別器 サムスチールチェッカー



あなたがお使いになる鋼材の材質に
間違いはありませんか 異材混入を防止するために

新製品 鋼材判別器 サムスチールチェッカー D-200型

サムスチールチェッカーの 3大特長

- 非破壊で測定可能
- ポータブル
- 熟練不要(1回の測定時間は約5秒)

サムスチールチェッカーは こんなときに使います。

- 用途① ミルシートと鋼材現品との一致を確認したいとき。
- 用途② 切断した鋼板等が切断前と同一材であることを確認したいとき。
- 用途③ 材質の異なる鋼材を仕分けしたいとき。
- 用途④ 材質不明の鋼材の材質を推定したいとき。



株式会社 立花エレクトック

測定に当たっては次の注意が必要です。

- 鋼材表面の黒皮、錆を除去すること。
- 測定箇所の水ぬれはふき取ること。
- 鋼材に交流電流が通電していないときに測定すること。
- 鋼材温度が5℃～35℃の時に測定すること。
- 同一箇所でも3回以上測定した値の平均値を取ること。
- 測定箇所の鋼材厚さは2mm以上であること。
- 測定箇所として急熱急冷された部分を避けること。
- プローブの取り扱いには慎重に行ないセンサー針を折損することないように注意すること。

仕様 D-200型

| | |
|--------|--|
| 表示方法 | デジタル表示式 |
| 外形寸法 | 140×200×60 (mm) (本体寸法) |
| 重量 | 約2.4kg (本体及びプローブ) |
| 電源 | バッテリー内蔵 |
| 仕様温度範囲 | 0℃～+40℃ |
| 測定鋼材温度 | 5℃～+35℃ |
| 保存温度範囲 | -10℃～+50℃ |
| 湿度 | 80%RH以下 |
| 連続測定回数 | 5秒測定で300回 |
| 測定可能範囲 | 軟鋼からステンレスに至る各種鋼材及び合金 |
| 構成 | 本体、プローブ、バッテリー(本体内蔵)、ケーブル(プローブ用、AC電源用、DC電源用)、キャリングケース、専用充電器、標準サンプル(2種)、棒やすり、サンドペーパー |

旧製品であるサムスチールチェッカー(M-100型、D-100型)は(財)日本建築センターの検査機器性能評価委員会から評価を受けており、本製品はそれに準拠した製品です。
評価番号:BCJ-59-検機1

お問合せ先

 株式会社 立花エレクトック

<http://www.tachibana.co.jp>

【ITギャラリー】当社の技術力・システム事例をご紹介します。

<http://www.tachibana.co.jp/it-gallery/index.asp>

〒550-8555 大阪市西区西本町1-13-25

技術企画開発部

TEL : 06-6539-2721 FAX : 06-6539-8824